

今後対応すべき課題について

誘致予定場所の調査
【地盤条件】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域一帯が軟弱地盤であることを踏まえ、地盤条件を調査(岩田委員) ● 地盤条件を踏まえ、必要となる基礎構造の検討(岩田委員)
【埋蔵文化財】 <ul style="list-style-type: none"> ● 長沼遺跡の包蔵地であることを踏まえた埋蔵文化財の調査(岩田委員)

周辺環境への影響対策
【交通】 <p>①公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電車等の公共交通機関の輸送能力を確認(菅委員長・中村委員・久保田委員) ● JR 東静岡駅、静鉄長沼駅のキャパシティの確認や、利用者数の予測(菅委員長・中村委員・久保田委員・事務局)
<p>②道路・動線</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 興行の際の機材搬出入における大型トラック等の止め場の検討(長井委員) ● 周辺地域や施設内における観客の動線や、地域への影響を検討(久保田委員・中村委員) ● 渋滞対策の検討(中村委員・事務局)
<p>③駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周辺駐車場との連携の可能性(事務局)
【騒音】 <ul style="list-style-type: none"> ● 周辺住民に配慮した騒音対策(桂田委員・久保田委員・事務局)
【振動】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地盤条件を踏まえ、観客の動きに起因する振動が周辺にもたらす影響を調査(岩田委員) ● 周辺住民に配慮した振動対策(事務局)
【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ● 建物や屋根の形状によって生じる風の流れの変化等、周辺の建物への影響を調査(中村委員)
【周辺住民への説明】 <ul style="list-style-type: none"> ● 想定される影響に関する周辺住民への説明、合意形成等(桂田委員・久保田委員・中村委員)

事業性の精査
<p>【需要の確認】</p> <p>①利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県全体、東京圏、愛知圏など、広域的な興行需要を確認(菅委員長・岩田委員) ● アマチュアスポーツや各種イベント等、平日利用の需要を確認(菅委員長・岸委員・久保田委員・長井委員) ● 市内外の利用者へのアンケートにより、最新のニーズを確認(岩田委員)
<p>②事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 立地、使用料金等を考慮した興行の需要を事業者に確認(桂田委員)
<p>③関係団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用する可能性のあるスポーツ団体の意向の確認、事業条件の精査(桂田委員・長井委員)
<p>【アリーナの形状・レイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スケルトンや馬蹄形など、数パターンの形状やレイアウトを検討(桂田委員・長井委員) ● サブアリーナや収益施設など別施設の設置可能性を検討(久保田委員)
<p>【稼働率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平日の稼働率向上に関する検討(菅委員長・岸委員・長井委員) ● 事業採算性が確保できる稼働率の検証、検討(菅委員長・岸委員)
<p>【周辺施設との競合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコパアリーナ・このはなアリーナ等、周辺の類似施設との競合に関する調査・検討(菅委員長・岸委員・宗野委員)
<p>【経済波及効果の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市が事業費を負担する場合、それに見合った経済波及効果の確認、検証(岸委員)
<p>【事業採算性・財政負担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不足額をどこが負担するのかを検討(岩田委員・桂田委員) ● 使用料金や需要等を最低の見込みで試算したシミュレーションの実施や、最大不足額の算出(岩田委員・桂田委員・長井委員) ● 人口の減少や、社会・経済活動の縮小を踏まえた検討(長井委員)
<p>【事業の実施条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業者が実際に何を満たせば東静岡でアリーナを作れるのか条件を整理(長井委員) ● アリーナが全国で同時に約20箇所計画されていることを踏まえた、選ばれるための機能、民間運用の自由度の検討(桂田委員)
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他アリーナが抱える問題点、利用者が不便に思う点や要望等の確認(内田委員)

その他

【防災】

- 建物の大きさ、オープンスペースの広さから、実際に活動拠点として使えるか、様々なケースを勘案することが必要(岩田委員)

【観光】

- 市内観光との連携等、市の魅力向上により MICE 等の需要を確保(久保田委員・中村委員)
- 市の魅力、価値の発信(宗野委員・安池委員)

【社会的効果の検討】

- 社会的効果の具体策等の検討(菅委員長・桂田委員)

● 振動調査・対策案の検討

① 調査・検討方法

- ・事例調査等から、候補地周辺に影響を及ぼす振動源は音楽ライブ時の「たてのり運動」と想定
- ・影響を抑えるべき目標値について、市の振動基準、日本建築学会の居住性能評価基準等により設定
- ・事業実施の際の振動設計及び計画時に検討・留意が必要な事項について整理

② 対策案

- ・地盤改良、杭基礎、床版等、建築構造での対策
- ・アリーナの防振床化 ・床下への制振装置の設置
- ・アリーナ外周地中内への振動遮断のための壁や溝の設置
- ・受振側の建物への制振装置の設置

● 騒音調査・対策案の検討

① 調査・検討方法

- ・事例調査等から、候補地周辺に影響を及ぼす騒音源は、音楽コンサート、歓声、搬入搬出、建物外の会話等と想定
- ・影響を抑えるべき目標値について、市の騒音基準、日本建築学会の室内居住環境の保全における騒音レベルにより設定
- ・事業実施の際の騒音設計及び、計画時に検討が必要な事項を整理
- ・騒音対策については、室内音響にも留意が必要

② 対策案

- ・躯体構築方法（壁材・屋根材）の提示
- ・配置、平面計画（ステージ位置、搬入搬出経路等）等、運営面、管理運営上の対策

● 交通調査・対策案の検討

① 調査方法

- ・各交差点の交通量等を調査
- ・上記調査結果から各交差点の現況を解析
- ・将来発生交通量を市内類似イベント、周辺施設の状況から推計
- ・将来交差点解析の実施及び交通対策案を検討

② 対策案

- ・交通量削減や交通分散の観点から、駐車場は附置義務の駐車台数程度に留めることが最善と想定
- ・交通関連事業者等と課題を共有し、解決策を探る

国土地理院「地理院地図」を加工して作成

